

ご意見募集！

広報誌をより良くしていくために皆様からのご意見を募集しています。ご意見をお送りいただいた方の中から抽選で3名様に日南町の特産品をプレゼントいたします。

送り先：〒689-5292 日南町役場 企画課 広報担当

手紙、はがきに①住所②お名前③電話番号④ご意見・ご感想をご記入の上、企画課まで郵送またはお持ち込みください。皆様からのご意見お待ちしております！（※メールでは受け付けておりませんのでご注意ください。）

今月の
表紙

「世代を超え、国を越え、

銭太鼓がつなぐ輪」



7月号は銭太鼓を楽しむ同好会「霞愉楽会」をご紹介します。

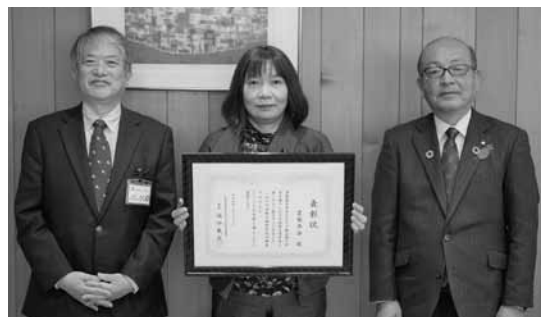
かすみ ゆらく かい
霞愉楽会

平成9年に霞地域の有志で結成。その後メンバーが入れ替わりながら今年で結成25年を迎えた。

平成28年には「霞子ども愉楽会」を発足し、現在は大人10人、子ども13人の計23人で活動している。

霞愉楽会は、大人だけで始まった活動を幅広い世代へと広げるため、技術の伝承にも力を注がれています。この活動は、単なる技術の指導だけでなく、子どもたちに礼儀作法を習得してもらうことにもつながっています。また、学校などを離れた地域での活動は、異なる年齢の子どもたちが教え合い、学び合う場にもなっているようです。

「他の習い事もやっているけど銭太鼓が一番好き！」と話す子や、家でもビデオを見て練習しているという子もあり、そんな子どもたちの様子を大人のみなさんもとてもうれしく思っているようでした。



長年の活動による功績が認められ、今年3月には鳥取県西部地区社会教育協議会会長表彰を受けられました。

銭太鼓で国際交流！

～ノミンさんとルーシーさんにお話を聞きました～

交流支援員のエレデネジャブ・ノミンさんと、外国語指導助手のミンティエロ・ルチアナ・ティラミスさん（ルーシーさん）も、霞愉楽会の活動に参加されています。

ノミンさんは銭太鼓を始めて約1年、ノミンさんに誘われたルーシーさんは、始めて約4ヶ月が経ったそうです。

「銭太鼓は難しいところもあって最初は大変だったけど、みんなと合わせるのが楽しい」と、お二人。「みなさんすごく優しくてありがたいです」（ノミンさん）「学校以外で日南町の方と触れ合えるのがうれしいです」（ルーシーさん）とのことで、「地域でみなさんと一緒に体験することで、日本の文化が学べます」と話していました。

